



平面上の原点 O を中心とする半径 1 の円 C の周上に、同一直径上にない異なる 2 点 A, B をとる。

A, B の位置ベクトルを \vec{a}, \vec{b} とし, $L = \{m\vec{a} + n\vec{b} \mid m, n \text{ は整数}\}$ とする。

(1) 零ベクトルでない, L の元の大きさの最小値 r は $1, |\vec{a} + \vec{b}|, |\vec{a} - \vec{b}|$ のうちの最小のものに等しいことを証明せよ。

(2) 2 点 A, B が $r = 1$ を満たして C の周上を動くとき, $\triangle OAB$ の面積 S の最小値を求めよ。



(1) $\angle AOB = \theta$ とおく。

$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$ であり, $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 1$ である。

$f(m, n) = |m\vec{a} + n\vec{b}|^2$ とおくと,

$$f(m, n) = m^2 + 2mn\vec{a} \cdot \vec{b} + n^2 = m^2 + n^2 + 2mn \cos \theta$$

(i) $mn = 0$ (ただし, $m = n = 0$ を除く) のとき

$$f(m, n) = m^2 + n^2 \geq 1 \text{ であり,}$$

等号成立は $(m, n) = (\pm 1, 0), (0, \pm 1)$ のときである。

このとき, $f(m, n)$ の最小値は $|\vec{a}|^2 = |\vec{b}|^2 = 1$ となる。

(ii) $mn > 0$ のとき

$$f(m, n) = (m - n)^2 + 2mn + 2mn \cos \theta$$

$$= (m - n)^2 + 2mn(1 + \cos \theta)$$

$$\geq 2(1 + \cos \theta) \text{ であり,}$$

等号成立は $m - n = 0, mn = 1$ すなわち $(m, n) = (1, 1), (-1, -1)$ のときである。

このとき, $f(m, n)$ の最小値は $|\vec{a} + \vec{b}|^2 = |-\vec{a} - \vec{b}|^2 = 2(1 + \cos \theta)$ となる。

(iii) $mn < 0$ のとき

$$f(m, n) = (m + n)^2 - 2mn + 2mn \cos \theta$$

$$= (m + n)^2 - 2mn(1 - \cos \theta)$$

$\geq 2(1 - \cos \theta)$ であり,

等号成立は $m + n = 0, mn = -1$ すなわち $(m, n) = (1, -1), (-1, 1)$ のときである。

このとき, $f(m, n)$ の最小値は $|\vec{a} - \vec{b}|^2 = |-\vec{a} + \vec{b}|^2 = 2(1 - \cos \theta)$ となる。

(i), (ii), (iii)より, L の元の大きさの最小値 r は $1, |\vec{a} + \vec{b}|, |\vec{a} - \vec{b}|$ のうちの最小のものとなる。

(2) $r = 1$ となるような θ の範囲を求める。

3つの最小値候補 $1, \sqrt{2(1 + \cos \theta)}, \sqrt{2(1 - \cos \theta)}$ において $r = 1$ となるのは

$1 \leq \sqrt{2(1 + \cos \theta)}$ かつ $1 \leq \sqrt{2(1 - \cos \theta)}$ となるときである。

これを解くと $-\frac{1}{2} \leq \cos \theta \leq \frac{1}{2}$ であり,

θ は2つのベクトルのなす角なので $0 \leq \theta \leq \pi$ としてよいから $\frac{\pi}{3} \leq \theta \leq \frac{2}{3}\pi$ となる。

この範囲において

$$\begin{aligned} \triangle OAB \text{ の面積 } S &= \frac{1}{2} |\vec{a}| |\vec{b}| \sin \theta \\ &= \frac{1}{2} \sin \theta \\ &\geq \frac{\sqrt{3}}{4} \end{aligned}$$

等号成立は $\theta = \frac{\pi}{3}, \frac{2}{3}\pi$ のとき。

よって, 求める最小値は $\frac{\sqrt{3}}{4}$